



支部だより

編集責任者

副支部長

岩本喜信

隊友川柳部

- ☆ 菓子箱の 金貨に化けた 電気代
- ☆ まだいるの 怖面会長 スポーツ界
- ☆ 日本海 次年も荒波 増すのやら
- ☆ ワンチーム 死闘の涙 すがすがし
- ☆ 料金が スマートでない スマートホン
- ☆ 妻の牙城 崩せず越年 重い尻
- ☆ 各国の 魚介背負って 回る寿司
- ☆ 貯金より 先にたまった 皮下脂肪
- ◆ Gソミア 今後もカードに 使うだと!
- ◆ あの国を 同盟国とは 思えない
- ◆ リーダーなく 中口が台頭 新冷戦
- ◆ SNS 怖さ知らぬ親の 子が被害
- △ トランプ氏 儲けと選挙とで 多忙
- △ 桜見は 旅行業者が 実費でね
- △ 高齢者 医療費2割で 頭痛し
- △ 中曽根氏 国民に惜しまれ 死去
- △ 横綱は「平手」「勝ち上げ」 しないもの
- △ おせちの写真 見て 食べている気分
- △ 年末は 喪中のハガキ 寂しきて
- 即位礼 一天晴れて 虹 龍
- ノーベル賞 吉野氏の笑顔 世界一
- 八ん場ダム 自民で完成 被害無し
- 切手代 万札出して プラス1円
- ノンアルで 唄うカラオケ 艶が出ず



(3後衛分会 野手)

(阪神病分会 山崎)



(中方付分会 久門)

(伊丹業分会 平尾)

皆様の投稿をお待ちしております。

TEL・FAX 0797-88-6240 (部長 福田)

第33号「住宅セーフティネット」について (1/3)

3師付分会 水谷秀志

日本は超少子高齢化と超ソロ（未婚）社会に突入して久しく、私たちの社会生活には様々な問題が発生しております。その一つに住宅問題があります。

平成30年度総務省統計局が全国の住宅・土地調査を行った結果、空き家数は846万戸と発表しており、これはおよそ7件に1件が空き家（拙著：空き家大国ニッポンから引用）となる計算です。また、被相続人の死亡による相続未登記の土地は九州の広さに相当する現実があります。こうなった原因を小覧の限界を前提としていくつか紹介します。

その1 昭和25年から開始した住宅金融公庫の低金利融資と今も続いている住宅ローン減税など政府による住宅取得奨励政策

その2 建築後22年を経過すると評価額がマイナスになる低品質の住宅を継続供給する社会システム

その3 日本人の意識の変化が起因する核家族化の蔓延と定着、超少子高齢化社会による人口減少局面への突入

その4 中古住宅市場の低迷、日本の市場規模は10%前後で欧米は80%である。

このような事情においても空き家へ入居できない方たちが沢山いることも事実で、その理由として「大家さんが提示する入居条件が厳しい」「連帯保証人が居ない」「母子家庭なので生活費が心配」「生活相談や見守りが必用」

「障がい者なので大家さんに断られる」などが挙げられています。

更に、高齢単身世帯は令和7年には701万世帯になる見込みです。日本の空き家問題の所轄は、国土交通省住宅局住環境整備室という部門が担当しており平成28年には「住生活基本計画」が閣議決定され平成29年4月に「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律の一部を改正する法律」が公布されました。この法律は、低所得者、被災者、高齢者、障害者、子供を育成する家庭、その他住宅の確保に特に配慮を要する者に対して生活の安定向上と社会福祉の増進を目的としています。

また、制度の全体像は、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度、登録住宅の改修や入居者への経済的支援及び住宅確保要配慮者の居住支援となっております。

次号では、皆さんの中で、「空き家」をお持ちであれば、この制度を知って戴く身近な内容でお届けします。

支部長日記 (Ver.2) - 18

支部長 河田 稔



1 令和元年も残りわずか、来年も頑張りましょう。

平成から令和へ、何も変わりはありませんでしたが、心持ちだけは、新たに切り替えようと皆さんも思われたのではないですか。来年は、オリンピックの年で、日本勢の活躍を祈念します。昔は、「参加することに意義がある。」と言われていましたが、今は結果が問われます。加えて、自分自身も負けずに色々なことに挑戦したいと思います。

2 猪名川町長を表敬

11月11日、猪名川自衛官募集連絡協議会会長の石原繁信氏（通信OB）と一緒に福田町長を表敬しました。町長に来年1月に行われる新年互礼会での来賓挨拶のお願いと防災担当として自衛隊OBの採用も併せて依頼してきました。

また、支部では、伊丹・宝塚・川西市と大規模災害時における隊友会の協力に関する協定を締結していますが、猪名川町とも、12月24日に締結できることになりました。これで、支部エリアの全市町との連携が強固なものになりました。

3 人事担当者との懇談

12月3日、午前中に伊丹・川西、午後から千僧駐屯地の人事担当者との懇談会を実施しました。隊友会の概要説明と退職予定者の隊友会への入会依頼です。支部の活動状況を説明し、隊友会は隊員の皆さんの最大の応援団であることを中心に話をいたしました。

ご存じのとおり、隊友会の会勢は、全国的にも右肩下がりです。支部も450人程度に減っています。退官後は慣れない仕事に邁進し、隊友会活動ができる余裕がないかもしれません。しかし、会員の皆さんと「ONE TEAM」で活動できるように一つひとつの事業を前向きに頑張っていきましょう。

4 新年互礼会と川西市の防災訓練への参加要請

新年早々、川西市の防災訓練が令和2年1月10日（金）に川西市東久代運動公園で午前10時から行われます。また、翌日の1月11日（土）11：30から伊丹シティホテルで、例年どおり防衛関係諸団体新年互礼会が開催されます。両行事とも支部としては重要な事業ですので、是非参加してください。

5 最後に剣道ネタ、

12月7日（土）、千僧駐屯地で中部地区自衛隊剣道大会が行われました。この大会は、中部方面隊管内の陸海空自衛隊の剣道大会です。今年も、航空自衛隊の防府南が活躍しました。それぞれの駐屯地で、余暇を利用して剣道の錬磨に励んでいる隊員たちが、頑張っています。



しかし、年々参加駐屯地、参加者が減少しており、昔は、各部隊も余裕があり、色々なことができたが、今は、全然違うようです。私は、色々なスポーツ、武道で、自衛隊がそれぞれの地域をリードすることができる環境を備えることが重要だと考えますが、今は、大変みたいです。その十分でない環境で、日々錬磨する隊員を少しでも応援したいです。

(お知らせ)

【阪神・淡路大震災25年祈念特別演奏会】

—『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』—

内 容： 防災講演 松島悠佐（元中部方面総監）

演 奏 陸上自衛隊中部方面音楽隊

日 時：令和2年1月26日（日）午後2時開演

場 所：神戸文化ホール

応募方法：「往復はがき」に①住所・②氏名・③電話番号・④年齢・

④性別・⑤同伴の有無（1名のみ）・⑥車椅子の有無を明記

応募締切：令和2年1月10日（金）必着

応 募 先：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-3

自衛隊兵庫地方協力本部 演奏会係

訃報

荒木 和義（情報保全隊分会）令和元年11月10日 76歳 逝去
謹んでお悔やみ申し上げます。

(もの好きオヤジの記) 東大寺 (その二)

阪神病分会 山崎勝徳

東大寺はすでに何度も訪れたが、平成25年には読売新聞の会員倶楽部の企画で東大寺の特別見学会に参加をさせてもらった。その折は、初めに東大寺ミュージアムで僧侶から東大寺の歴史について1時間の特別講座があり、その後、僧侶の案内で一般には開放されていないところへの案内など諸々の興味ある説明を受けたが、勉強不足もあり今までの認識と大きく違っていた事柄や、意外な歴史的事実など多くのことを学ぶことができた。

この巨大な大仏殿の高さは50m、正面巾58m（創建当時は86mもあった）この建物の中には高さ15mもの大仏様を収める。日本が誇る世界最大の木造建築物である。



この巨大な大仏殿の屋根には厚さ5センチ、重さ30kgの瓦109、400枚が載せられなんとその重量は3280tにもなり普通乗用車（1.5t）では2186台が載せられている計算になる。

木造建築でこれだけの重量を支えるというのは驚きだが、もう30年程前のことわたしはこの大仏殿瓦1枚を寄進し、

（大仏殿、高さ：約50m 横幅：約58m 奥行：50m）瓦の裏に筆で記名をしたことがある。その一枚がこの屋根のどこかに載せられているのだろうかと思った。

平成25年の見学会では大仏殿の中に案内をされ、普段立ち入ることができない大仏様の蓮台の傍に上がり、その蓮台を手で触れながらどのようにして大仏の造成が行われたのか、使用された銅の鑄造の方法やその金属の厚みなども、部分（場所）によって違いがあることなど、さらに大きな事件や災害などによって損壊をした箇所や修復の痕跡など大仏様の長い歴史をほんの一部分だが僧侶の説明や東大寺に伝わる資料などから学ぶことができた。

そもそも東大寺の造立は奈良時代に聖武天皇により僧侶の行基が全般を指揮して約9年の歳月を経て749年（天平勝宝元年）大仏の完成となる。

815年地震により頭部が落ちて修復される。そして1180年（治承4年）平清盛の命を受けた平重衡（しげひら）の南都焼き討ちにより焼失、このとき重衡の兵火は大きく近隣の興福寺なども焼失する。



（大仏様の名称：本尊、盧舎那仏坐像 高さ14.98m）

しかしその後、俊乗坊・重源という僧侶が寄付を集めて5年後に再興を果たして開眼法要を行っている。

だが、またしても、1567年（永禄10年）足利義輝公を暗殺して畿内の覇権を牛耳った三好兄弟と松永久秀の間で覇権争いが勃発し、この争いは東大寺境内が主戦場となり、その兵火により再び大仏殿は消失してしまった。

その後、なんと100年以上も大仏様は首なし状態のまま風雨にさらされていたというのである。

この惨状を見かねた山田道安（筒井順慶の叔父にあたる）が1569年、大勧進を申し出て胴体などを5年の工事期間を要して修復を行ったといわれる。これを知った、時の天皇で正親町天皇が感銘を受け、天皇自らの宸筆（直筆）によって日本全国の諸大名（織田信長、武田信玄、上杉謙信、毛利元就、徳川家康など2通）へ大仏再建の浄財の寄進を募る書状が出された。



（青銅の蓮台には無数の仏像などが描かれている）（栄西がインドから持ち帰った菩提樹の木）

実はこのときの最大の尽力者が、織田信長であったといわれ、信長は自らの家臣団及び全所領の民百姓に至るまで、浄財を寄進するよう命令を下したのである。この事実はあまり知られていないといわれているが、信長はいずれにしろ大仏再建の最大のスポンサーであった。しかしその後、信長は本能寺にて散り果て、再び戦乱の世となり再建計画は頓挫した。

やがて戦乱の世が終わり再建は江戸期の1686年に再開され1692年（元禄5年）に再建が完了し、大仏の開眼供養が行われ全国から奈良へ30万人もの人々が訪れたという。

このように大仏様は長い歴史の中で、幾多の事件に遭遇され、上述のように、2度も火難に見舞われたが、材質が金属のため全焼は免れたものの、多くの箇所の修復が必要だった。そして、大仏様は近現代になってやっと平安な時を過ごされているのである。

地名のルーツ（4）

相談役 福田 満

◎ 兵庫県－3

★ 六甲山－武庫山の

神戸の後背山地で、「六甲山地」の略称である。六甲山は武庫山（むこさん）の当て字で、武庫を六甲（むこ）と書いたのである。また、武庫は兵庫とも同じ意味で「武庫の倉庫」のことなのである。

齊明天皇のとき、日本軍が朝鮮の白村江で唐との海戦に大敗を喫した。以後、唐や新羅のわが国への進攻を恐れるあまり、国内の要所に多くの防衛設備を急造した。帝都防衛の一環として兵庫郡にも武備を構え兵器庫が設けられたのである。

★ 甲子園－きのえねの

西宮市鳴尾地区に在る。大正13年（1924年）武庫川改修が完成し、廃川となった枝川や申川（さるかわ）廃川跡地を、阪神電鉄会社が払い下げを受け、4万平方メートルの敷地に野球や各種競技場と遊園地をつくった。以来、全国野球ファンのメッカとなったのである。甲子園が完成した大正13年が、たまたま干支の甲子（きのえね）に当たっており、それが暦の周期のトップというめでたい年まわりであったので、甲子園という名が選ばれたのだという。

★ 有馬温泉－山間の谷間

六甲山地の北斜面、海拔360メートルの地点に在る温泉。

アリマは谷間の意味で、山間に在る土地ということから生まれた地名である。

★ 須磨の浦－摂津の隅

六甲山地の末端が、大阪湾に傾斜し没入する白砂青松の景勝地。スマとは隅のことで、この地が摂津国の西南隅に位置していることから生じた地名であろう。

★ 舞子ノ浜－磯馴松の枝ぶり

舞子駅付近の西垂水（にしたるみ）から山田にかけての、明石海峡にのぞむ1.5キロメートルに及ぶ海岸の名である。

風光の美しい浜辺に立ち並ぶ磯馴（そなれ）松が、優にやさしい枝振りをしているので、舞子の姿になぞらえての命名なのだという。

★ 明石ノ浦－赤い硯石の

明石市の海岸。赤石とも書く。和訓栞（わくんのしおり）に「明石の海中に赤石を産し、硯石としてすぐれた石質を持っている」と誌されている。

その赤石にちなむ地名で、よい字として明石が採用されたのであろう。

★ 城ノ崎温泉－城のような

円山川の支流－大谿川沿いに在り、日本海にのぞむ温泉地。

「き」とは、土台とか四囲をかこった城のような形をした土地のこと。城の崎とは大谿川沿いの河段丘の出崎に名づけた地名であろう。

★ 淡路島－阿波への通路

瀬戸内最大の島。神話や伝説、渦潮や本四架橋など広く関心を持たれている島である。「あわぢ」とは、畿内から阿波国への通り路「阿波路」という意味であることは周知のことである。



（右手の中指は前に曲げている）（左手の中指は上に曲げてある）

さて、大仏様の頭の丸いイボは螺髪（らほつ）といい右巻きの巻貝を意味する。創建当初は966個あったそうだが、平成28年の調査で483個と判明した。直径は22cm、高さ21cm、重さ1.2キロもある。

額の白く丸いものは白毫（びやくごう）と言って1.5メートルの毛がくるくる巻かれている。これは慈悲の光を遥か遠くまで届けて悩み苦しむ人々を

救済するためのものだという。因みに、大仏様の手のポーズについて：

このポーズは「手印（しゅいん）」といわれ、右手の平は前に向けられ中指（1m8cm）が少し前に曲げられている。これは「施無畏（せむい）」という形で、「恐れることはない」という意味で、左手は膝の近くで手のひらを上に向け中指を少し曲げている。これは「与願印（よがんいん）」と言って、「願いをかなえてあげます」と言う意味である。

因みに、大仏造立に使用された金属は、銅：499t スズ：8.5t 水銀：2.5t 金：440kg 人夫：延べ260万人（当時の全国の人口600万～700万人）を要した。そして、大仏様の体重は：250t 身長は？いや・座高：14.98mである。

ここを訪れるたびに新たな発見があり、また疑問がわく。大仏様（東大寺）を知ることはまさに日本の歴史そのものを知ることでもあると気付かされる。

<おわり>